

あゆみ

60th

*Anniversary*

伊丹市自治会連合会



# 伊丹市自治会連合会 創立 60 周年



## ■ 更なる「地域自治」を目指して

伊丹市自治会連合会  
会長 佐々木 憲治

伊丹市自治会連合会は、昭和 38 年に伊丹市福祉連合会として創立、昭和 41 年に伊丹市自治会連合会と改称いたしました。

これまで、住民主体の安全・安心で住みよいまちづくりのため、積極的な活動を展開してまいりました。

この度、60 周年を迎えることができましたのも、偏に伊丹市をはじめ、歴代役員や先輩諸氏のご尽力と会員皆様のご理解とご協力、ご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

私は当連合会 50 周年のときにも役員を務めさせていただいており、この 10 年を思いおこせば、地球温暖化による異常気象、少子高齢化、人口減少の進行、子どもの虐待の増加、中でも、人類を震撼させた新型コロナウイルスの日本上陸、ロシアのウクライナ侵攻等々、どれを取ってみましても、かつてなかった危機の時代に直面しているように思われます。

そのような中、人と人とのつながりを絶やさないように、デジタル技術を活用して、地域活動の実施に手助けとなるような情報提供や研修等を行い、自治会長をはじめとする地域住民と一体となり、困難を乗り越えることができました。

今年度は多くの自治会などで夏祭り・盆踊り大会をはじめとし様々な活動が行われるなど、活動の本格的な復活の年となり、改めて、自治会が持つ「地域力」のすばらしさを実感しております。

今後の地域活動におきましては、どの様な状況下にあっても、人と人とが直接顔を合わせ交流し、団結して、助け合っていかなければならないと改めて強く感じている次第です。

当連合会といたしましても、より一層のデジタル化等の取り組みを進め、負担の軽減を図るなど、様々な形での活動を展開し、地域活動の核となる自治会の力を十分に発揮いただけるよう支援してまいります。

最後になりましたが、伊丹市をはじめ関係諸機関、団体、会員各位のより一層のご指導ご支援をお願い申し上げますとともに、皆様方の益々のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、創立 60 周年にあたってのご挨拶とさせていただきます。



## ■ お祝いの言葉

### 伊丹市長 藤原 保幸

伊丹市自治会連合会創立 60 周年を迎えられ、記念誌「あゆみ」が発行されますことを心よりお祝い申し上げます。

佐々木会長をはじめ会員の皆様方には、60 年間という長い歩みを支え、多大なる貢献をいただいたほか、平素より市政各般にわたって、格別のご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

近年、新型コロナウイルス感染症の影響により、従来通りの活動ができず苦しい時期が続いておりましたが、そのような中でも様々な工夫を凝らし、市民力・地域力の根幹となる地域活動を継続し、地域の絆を守ってこられたことに深く敬意を表します。

本市では、「人の絆 まちの輝き 未来へつなぐ 伊丹」を将来像とした「伊丹市総合計画（第 6 次）」を進めております。これまで本市で培われてきた市民相互のつながりや支え合いを大切に、全ての市民が安心して生き生きと暮らし、未来を担う子どもたちが夢と希望をもって健やかに成長できるまちを目指してこれからも全力で取り組んでまいりますので、地域活動の中心を担う皆様方のより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、伊丹市自治会連合会のますますのご発展ならびに皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



## ■ 創立 60 周年に寄せて

### 伊丹市議会議員 戸田 龍起

伊丹市自治会連合会が、創立 60 周年の節目を迎えられ、ここに記念誌を刊行されますことを心からお祝い申し上げます。

昭和 38 年の発足以来、社会・経済の変動とともに幾多の困難もあったかと存じますが、60 年の長きにわたり、行政や関係機関と協働して、自治会相互の連携と友好を深めるとともに、地域社会のためご尽力を賜っておりますことに、深く敬意を表しますとともに心から感謝を申し上げます。

さて、急速な少子高齢社会の到来とともに、核家族化が進行し、家族の意識や地域住民の意識も多様化してきております。また、社会活動に大きな影響を及ぼした新型コロナウイルス感染症により、日々の暮らしも変化し、地域で過ごす時間が増えている中、安全・安心な社会の構築に向け、地域コミュニティの大切さが今一度見直されております。皆様におかれましては、住民自治の担い手として、安全で安心できる住みよいまちづくりに、より一層のご尽力を賜りますようお願いいたします。

終わりに、この記念すべき年を契機とし、伊丹市自治会連合会が、ますます充実発展されますことを祈念いたしまして、お祝いのことばといたします。

# 伊丹市自治会連合会 60年のあゆみ

## 年 月 自治会連合会のあゆみ

- 昭和 38 年 4 月 伊丹市福祉連合会結成
- 昭和 41 年 4 月 伊丹市自治会連合会に名称変更
- 昭和 44 年 1 月 航空機騒音追放市民大会を開催し、空港ローカル化、航空機公害の完全補償などの7項目を決議
- 昭和 49 年 6 月 空港撤去促進市民大会開催
- 昭和 51 年 2 月 航空機・新幹線公害について、運輸省・環境庁・国鉄本社に対して陳情
- 昭和 57 年 11 月 姉妹都市島根県頓原町自治委員会との交流会  
自治会長交流ボウリング大会スタート
- 昭和 60 年 9 月 伊丹市自治会連合会旗作成
- 昭和 62 年 3 月 自治会などで緑化運動を進めるため「市民緑化のつどい」を開催
- 昭和 63 年 3 月 「クリーン・グリーンフォーラム」を開催
- 平成 元年 2 月 第1回センターフェスティバルに共催



第1回センターフェスティバル

- 平成 2 年 5 月 自治会連合会会則を全部改正し、常任理事を新設・役員の任期を2年とする等により、自治会連合会の組織強化
- 平成 3 年 1 月 違法駐車追放運動への取り組み決議  
9 月 グラウンドゴルフ大会スタート
- 平成 4 年 4 月 暴力団・暴走族・薬物乱用追放伊丹市民大会に参加
- 平成 5 年 8 月 市民対話集会（市長との直接対話の場）  
11 月 自治会連合会として防災総合訓練に参加  
自治会連合会 30 周年記念式典  
記念誌「あゆみ」発刊
- 平成 7 年 1 月 市民4団体と共催で「新年互礼会」を開催  
災害対策の早期実施と復旧に向けた取り組みについて市長と意見交換  
11 月 仮設住宅花いっぱい運動で市内仮設住宅へ花を配布
- 平成 8 年 1 月 「自治連だより」第1号発刊  
3 月 市民生活の復興のため、自治会連合会を含め各種市民団体と連携し、震災復興市民会議を発足  
9・12 月 震災復興に向けて取り組みを強化  
10万人の署名を添えて兵庫県知事・国へ要望書を提出
- 平成 9 年 6 月 容器包装リサイクル法に関する学習
- 平成 10 年 5 月 自治会活動の普及啓発を図るため、市役所1階ロビーでコミュニティ活動パネル展を開催



あゆみ



コミュニティ活動パネル展

## 年 月 伊丹市を取り巻く主な出来事

- 昭和 39 年 6 月 大阪国際空港にジェット旅客機が就航  
10 月 大阪国際空港騒音対策協議会（8市協、現11市協）が発足
- 昭和 40 年 4 月 千僧浄水場完成
- 昭和 41 年 3 月 伊丹廃寺跡が国の史跡・御願塚古墳が県の史跡に指定
- 昭和 43 年 11 月 阪急伊丹駅の高架化移設工事が完成
- 昭和 44 年 3 月 共同利用施設第1号（神津センター）オープン
- 昭和 47 年 7 月 市庁舎千僧に新築移転、水道局、図書館、博物館オープン
- 昭和 48 年 4 月 伊丹スポーツセンター  
6 月 中央公民館オープン  
10 月 「大阪国際空港撤去都市」宣言
- 昭和 50 年 11 月 「差別を許さない都市」宣言
- 昭和 54 年 12 月 有岡城跡が国の史跡に指定（昭和63年5月に追加指定）
- 昭和 55 年 4 月 長崎県大村市、島根県頓原町と姉妹都市提携  
12 月 口酒井遺跡で遺物が出土
- 昭和 56 年 4 月 国鉄福知山線の塚口～宝塚間が複線電化  
5 月 国鉄伊丹新駅が完成
- 昭和 58 年 5 月 市立伊丹病院が新築移転
- 昭和 59 年 11 月 柿衛文庫オープン
- 昭和 60 年 4 月 ベルギー・ハッセルト市と姉妹都市提携  
5 月 中国・佛山市と友好都市提携  
10 月 伊丹市緑地の保全および緑化の推進に関する条例を改正し、緑化元年とする
- 昭和 61 年 4 月 浪速短期大学（現大阪芸術大学短期大学部）が開校
- 昭和 62 年 11 月 美術館オープン
- 昭和 63 年 11 月 JR伊丹駅前にアリオ、アイホール（演劇ホール）オープン
- 平成 元年 1 月 ケアハイツいたみ（老人保健施設）オープン  
11 月 工芸センターオープン
- 平成 2 年 5 月 サンシティホール（高齢者福祉施設）オープン  
8 月 神津大橋完成  
11 月 こども文化科学館・昆虫館オープン  
12 月 11市協・伊丹調停団が運輸省と協定書に調印し空港存続が決定
- 平成 3 年 4 月 アイ愛センター（障害福祉センター）オープン  
12 月 伊丹アイフォニックホール（音楽ホール）オープン
- 平成 4 年 1 月 旧岡田家住宅が国指定重要文化財に指定  
4 月 ラスタホール（生涯学習センター）、荒牧バラ公園オープン
- 平成 5 年 4 月 CATV局ケーブルビジョンアイ（現ペイ・コミュニケーションズ）開局
- 平成 6 年 2 月 伊丹市老人保健福祉計画策定  
9 月 関西国際空港開港に伴い、大阪国際空港の国際線廃止  
局地的集中豪雨で市内3,029戸の建物に被害  
総合教育センター開館
- 平成 7 年 1 月 阪神淡路大震災（死者23人、負傷者2,716人、全半壊家屋8,894棟（平成12年5月1日現在））  
6 月 市震災復興計画策定
- 平成 8 年 3 月 自主防災組織助成要綱制定  
4 月 自主防災組織の結成促進  
12 月 コミュニティ放送局（エフエムいたみ）開局
- 平成 9 年 4 月 宮ノ前地区地下駐車場開設  
5 月 市都市計画マスタープラン策定  
容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律改正
- 平成 10 年 2 月 クリーンスポーツランド（ごみ焼却余熱利用施設）オープン  
11 月 いたみホール（文化会館）オープン  
阪急伊丹駅が福祉駅として復興



阪神淡路大震災

年	月	自治会連合会のあゆみ
平成 11 年	6 月	女性部会の活動スタート
平成 12 年	5 月	生活安全委員会を設置
	10 月	全自治会長を対象に市民対話集会を開催
平成 13 年	10 月	プラスチック容器包装の分別収集モデル地区事業に参画
平成 14 年	1 月	市民対話集会を懇談会方式にて開催 分別収集、無色透明・白色半透明袋によるごみ出し奨励
	7 月	パソコン研修会を開催
平成 15 年	1 月	「参画・協働のまちづくりの仕掛け」と題して講演会を開催（行政職員との合同研修）
平成 16 年	1 月	自治会連合会 40 周年記念式典 （伊丹総おどりの初披露）
	12 月	愛知県春日井市へ安全安心のまちづくりについて視察
平成 17 年	4 月	広報委員会発足
	12 月	岡山県岡山市へ住民組織について視察
平成 18 年	11 月	三重県名張市へ住民組織について視察
平成 19 年	11 月	香川県高松市へ地域組織について視察
平成 20 年	5 月	組織改編実施
	12 月	福井県福井市防災センター、石川県金沢市へ治水対策などについて視察
平成 21 年	10 月	岡山県津山市連合町内会へ視察
平成 22 年	11 月	愛知県名古屋地域委員会、三重県松坂市自治会連合会へ地域組織について視察 兵庫県豊岡市円山川防災センターへ視察 高齢者交通安全教育隊（スタウス）による研修会開催
平成 23 年	11 月	広島県竹原市、山口県柳井市へ視察
平成 24 年	5 月	本会に事務局長、ブロック長会を設置
	10 月	岐阜県飛騨市へ視察
平成 25 年	3 月	「ごみの出し方・ごみの分別 Q & A」発行
	11 月	兵庫県朝来市、島根県出雲市へ地域自治交付金について視察
平成 26 年	2 月	自治会連合会 50 周年記念式典
	11 月	三重県名張市（地域ゆめづくり活動交付金）、愛知県豊橋市（総括補助金及び地域課題）について視察
平成 27 年	10 月	和歌山県稲むらの火の館へ防災精神や人命尊重の精神について視察
平成 28 年	6 月	自治連だよりの充実（自治会回覧として年 3 回発行）
	6 月	熊本地震義援金支援実施
	9 月	岡山県高梁市へ防災訓練などについて視察
平成 29 年	5 月	自治会加入促進への取り組み開始
		自治会加入促進のぼり旗
		自治会活動のヒント
	9 月	福井県鯖江市へ鯖江市 JK 課プロジェクトについて視察
平成 30 年	9 月	鳥取県倉吉市防災センターへ視察
令和 元年	9 月	香川県坂出市「131（防災）おとめ隊」視察
令和 2 年	12 月	環境、福祉、生活安全委員会を廃止
令和 3 年	6 月	デジタル化推進のため各ブロック長に対してタブレットを貸与
	11 月	徳島県勝浦郡上勝町へ「葉っぱビジネス」、「ゼロ・ウェイストセンター」について視察
令和 4 年	3 月	自治会連合会のホームページを開設
		自治会連合会ホームページ
	11 月	愛知県小牧市へ結ネットについて視察
令和 5 年	11 月	愛知県豊田市へとよたエコフルタウンの取り組み、長久手市へ若年層の地域参加の仕掛け等について視察
令和 6 年	2 月	自治会連合会 60 周年記念式典



伊丹総おどり



自治会活動のヒント



自治会連合会ホームページ

年	月	伊丹市を取り巻く主な出来事
平成 11 年	4 月	神津福祉センター（高齢者総合施設）オープン
	11 月	市ホームページを開設
平成 12 年	3 月	県内初の在宅介護の専門的総合施設ぐろーりあオープン
	4 月	介護保険制度スタート
	11 月	阪急伊丹駅前広場完成
平成 13 年	3 月	金岡雨水貯留管、下河原緑地完成
	4 月	スワンホール（労働福祉会館・青少年センター）、伊丹商エプラザ、みどりのプラザオープン
	6 月	伊丹郷町館オープン
平成 14 年	4 月	いきいきプラザ（地域福祉総合センター）オープン
平成 15 年	3 月	伊丹市まちづくり基本条例制定
	4 月	プラスチック製容器包装の分別収集スタート
平成 16 年	4 月	きららホールオープン
	7 月	市民まちづくりプラザオープン
平成 17 年	4 月	伊丹市長に藤原保幸氏就任
		JR 福知山線で脱線事故
平成 18 年	7 月	伊丹スカイパークオープン
平成 20 年	4 月	後期高齢者医療制度開始
		伊丹市マスコット「たみまる（愛称）」誕生
	7 月	伊丹市マスコット「ヒコまる（愛称）」誕生
平成 21 年	5 月	裁判員制度施行
平成 23 年	3 月	東日本大震災発生、原発事故発生
		伊丹市マスコット ヒコまる
		伊丹市マスコット たみまる
		ことば蔵 オープン
平成 24 年	7 月	ことば蔵オープン（市立図書館） ロンドン五輪柔道女子 78kg 超級で銀メダルを獲得した杉本美香さんに市民栄誉賞
平成 25 年	4 月	幼保連携型「神津こども園」開園
		防災センター開館
	7 月	地域提案制度スタート
	11 月	東北楽天ゴールデンイーグルスの田中将大投手に市民栄誉賞
平成 28 年	1 月	安全・安心見守りネットワーク運用開始
	3 月	クリーンスポーツランド（ごみ焼却余熱利用施設）閉館
	4 月	あすばる（こども発達支援センター）オープン
	11 月	ことば蔵が「ライブラリー・オブ・ザ・イヤー2016」の大賞を受賞
平成 29 年	4 月	市民まちづくりプラザがスワンホールへ移転
	6 月	市内全中学校にて給食がスタート
平成 30 年	3 月	伊丹市地域自治組織の設立等に関する条例制定
	4 月	JR 伊丹駅前に伊丹機械式自転車駐車を整備
平成 31 年	1 月	伊丹空港開港 80 周年
令和 2 年	4 月	公民館の機能をスワンホールへ移転
		ここいろ（男女共同参画センター）オープン
		新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発令
	6 月	『伊丹諸白』と「灘の生一本」下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷が日本遺産に認定
	11 月	市政施行 80 周年記念
	12 月	こらくる（市立児童会館）オープン
令和 3 年	4 月	伊丹市総合計画（第 6 次）スタート
令和 4 年	4 月	市立伊丹ミュージアムオープン （博物館、柿衛文庫、美術館、工芸センター、伊丹郷町館を統合）
		共同利用施設緑ヶ丘センターオープン
	11 月	伊丹市役所新庁舎、いたみ総合保健センターオープン
令和 5 年	5 月	新型コロナウイルス 5 類に移行
	7 月	すずはら地区交流センターオープン
	8 月	共同利用施設等 17 か所（各小学校区 1 か所）に Wi-Fi 環境整備



市民まちづくりプラザオープン



ことば蔵 オープン



安全・安心見守りネットワーク運用開始



日本遺産認定



# 特色のある まちづくり活動



## 伊丹地区

■伊丹ふれあい夏祭り



## 有岡地区

■哲学カフェ  
「超高齢社会での  
まちづくり活動を  
考えるシンポジウム」

■三軒寺前  
フリーマーケット



■新作能  
「村重」鑑賞会



## 稲野地区

■くっきんぐパパ



## 摂陽地区

■せつよう  
助け愛センター

■稲小地区地域  
ふれあい文化祭



■摂陽自治協  
デジタル化推進





南地区

■南小フェスタ



鈴原地区

■合同防災訓練



■木工教室



■地域交流  
餅つき大会



■焼き芋大会



■伝承 昔の  
おもちや  
作り



笹原地区

■笹原まつり



神津地区

■神津夏まつり



■笹原  
フェスティバル



■ひょうたん  
作品展

特色のあるまちづくり活動



緑丘地区

■わくわくカーニバル



瑞穂地区

■ハロウィン

■花火ナイト



■夏休み親子ラジオ体操



桜台地区

■花火大会



池尻地区

■防災・安全訓練  
(段ボールベッドの  
作り方講習)

■収穫祭



■ソフトボール  
大会



花里地区



■どんど



■花里とんとんクリスマス会



昆陽里地区

■ 田植え  
(代掻き)



天神川地区

■ てんてん食堂  
(こども食堂)

■ 田植え



■ 天神川  
防災訓練



■ 田植え  
(稲刈り)

鴻池地区

■ グラウンド  
ゴルフ



荻野地区

■ かるた・  
百人一首大会

■ 秋フェスティバル



■ あいさつ運動



■ 防災訓練



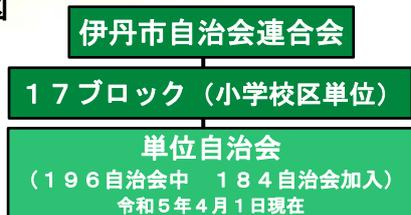
伊丹市自治会連合会歴代役員名簿

年度	会長	副会長	副会長	副会長	副会長	副会長	副会長	会計	会計	事務局長
昭和38年度	阪部 忠太郎	山内 喜一	渡邊 菊一							
昭和39年度	油井 久雄	山内 喜一	渡邊 菊一							
昭和40年度	油井 久雄	山内 喜一	渡邊 菊一							
昭和41年度	濱田 力三	山内 喜一	渡邊 菊一							
昭和42年度	永長 繁治	宗像 薫	荒西 廣治					荒西 廣治	溝口 精八	
昭和43年度	永長 繁治	宗像 薫	米蒸 良太郎					柄谷 正一	米蒸 良太郎	
昭和44年度	宗像 薫	多田 治太郎	池田 富太郎					亀岡 尚一	松岡 久太郎	
昭和45年度	宗像 薫	多田 治太郎	池田 富太郎					亀岡 尚一	松岡 久太郎	
昭和46年度	宗像 薫	多田 治太郎	池田 富太郎					川口 又吉	小笠原 正	
昭和47年度	宗像 薫	増田 忠治	池田 富太郎					松岡 久太郎	松原 久一郎	
昭和48年度	宗像 薫	増田 忠治	池田 富太郎					杉本 信一	渡邊 弘人	
昭和49年度	宗像 薫	増田 忠治	池田 富太郎					香村 俊	船富 彦和	
昭和50年度	宗像 薫	増田 忠治	池田 富太郎					香村 俊	東山 威	
昭和51年度	小笠原 正	増田 忠治	山内 喜一					香村 俊	瀧内吉郎右衛門	
昭和52年度	小笠原 正	坂上 俊夫	山内 喜一					福田 歳己	柴田 実	
昭和53年度	小笠原 正	福田 歳己	馬場 藤一					大芝 哲男	陣内 武雄	
昭和54年度	小笠原 正	福田 歳己	武田 通雄					大芝 哲男	永田 昌夫	
昭和55年度	小笠原 正	福田 歳己	武田 通雄					大芝 哲男	永田 昌夫	
昭和56年度	小笠原 正	福田 歳己	武田 通雄					大芝 哲男	永田 昌夫	
昭和57年度	小笠原 正	大芝 哲男	武田 通雄					大芝 哲男	永田 昌夫	
昭和58年度	小笠原 正	大芝 哲男	武田 通雄					鈴木 巽	永田 昌夫	
昭和59年度	小笠原 正	大芝 哲男	武田 通雄					鈴木 巽	永田 昌夫	
昭和60年度	小笠原 正	大芝 哲男	武田 通雄					鈴木 巽	永田 昌夫	
昭和61年度	小笠原 正	大芝 哲男	武田 通雄					鈴木 巽	永田 昌夫	
昭和62年度	小笠原 正	大芝 哲男	武田 通雄					鈴木 巽	永田 昌夫	
昭和63年度	小笠原 正	大芝 哲男	武田 通雄					鈴木 巽	永田 昌夫	
平成元年度	高谷 彦三郎	砂川 滄	岸本 長七	船富 彦和				岸本 誠三郎	上田 卯一郎	
平成 2年度	高谷 彦三郎	砂川 滄	岸本 長七	船富 彦和				岸本 誠三郎	上田 卯一郎	
平成 3年度	高谷 彦三郎	砂川 滄	岸本 長七	船富 彦和				岸本 誠三郎	上田 卯一郎	
平成 4年度	砂川 滄	増田 忠治	鈴木 嘉藏	船富 彦和				竹矢 孔三	上田 卯一郎	
平成 5年度	砂川 滄	増田 忠治	鈴木 嘉藏	船富 彦和				濱田 進	上田 卯一郎	
平成 6年度	照屋 盛徳	増田 忠治	鈴木 嘉藏	山本 泰通				森川五十二郎	阪本 善親	
平成 7年度	照屋 盛徳	増田 忠治	鈴木 嘉藏	山本 泰通				阪本 善親	矢野 輝夫	
平成 8年度	照屋 盛徳	増田 忠治	鈴木 嘉藏	三宅 修平				阪本 善親	八田 優希	
平成 9年度	照屋 盛徳	鈴木 嘉藏	三宅 修平	畑中 義雄	阪本 善親			阪本 善親	八田 優希	
平成10年度	鈴木 嘉藏	三宅 修平	畑中 義雄	阪本 善親				北野 弘嗣	白井 務	
平成11年度	鈴木 嘉藏	三宅 修平	畑中 義雄	阪本 善親				北野 弘嗣	白井 務	
平成12年度	鈴木 嘉藏	三宅 修平	阪本 善親	阪部 利夫				白井 務	朝山 吉治	
平成13年度	鈴木 嘉藏	三宅 修平	阪本 善親	阪部 利夫				朝山 吉治		
平成14年度	鈴木 嘉藏	三宅 修平	阪本 善親	二宮 正博				入江 義人	山本 章	
平成15年度	鈴木 嘉藏	三宅 修平	阪本 善親	畑中 義雄				入江 義人	山本 章	
平成16年度	鈴木 嘉藏	榎木 光夫	原田 智恵子	岡本 忠治				笠井 隆	山本 章	
平成17年度	鈴木 嘉藏	榎木 光夫	原田 智恵子	岡本 忠治				笠井 隆	山本 章	
平成18年度	鈴木 嘉藏	榎木 光夫	原田 智恵子	岡本 忠治				梶川 義廣	山本 章	
平成19年度	鈴木 嘉藏	榎木 光夫	原田 智恵子	岡本 忠治				桐野 明	山本 章	
平成20年度	吉田 弘志	榎木 光夫	原田 智恵子	岡本 忠治	永田 文也	池田 博一	桐野 明			
平成21年度	吉田 弘志	榎木 光夫	原田 智恵子	岡本 忠治	永田 文也	池田 博一	桐野 明			
平成22年度	吉田 弘志	榎木 光夫	桐野 明	岡田 十三義	永田 文也	池田 博一	岩田 武司			
平成23年度	永田 文也	宮崎 康人	桐野 明	岡本 義博	小西 興三		岩田 武司			
平成24年度	永田 文也	榎木 光夫	長澤 孝	稗田 康雄	酒井 義隆	池田 博一	佐々木 憲治		岩田 武司	
平成25年度	永田 文也	榎木 光夫	長澤 孝	稗田 康雄	酒井 義隆	池田 博一	佐々木 憲治		岩田 武司	
平成26年度	榎木 光夫	市川 伊久雄	長澤 孝	稗田 康雄	遠山 萬蔵人	矢野 天正	池田 博一		岩田 武司	
平成27年度	榎木 光夫	市川 伊久雄	長澤 孝	稗田 康雄	遠山 萬蔵人	矢野 天正	池田 博一		岩田 武司	
平成28年度	榎木 光夫	市川 伊久雄	矢野 天正	稗田 康雄	宮内 正次	長澤 孝	青木 宗生		岩田 武司	
平成29年度	榎木 光夫	市川 伊久雄	矢野 天正	稗田 康雄	宮内 正次	長澤 孝	青木 宗生		岩田 武司	
平成30年度	榎木 光夫	市川 伊久雄	矢野 天正	伴 博夫	宮内 正次	長澤 孝	佐々木 憲治		岩田 武司	
令和元年度	榎木 光夫	市川 伊久雄	矢野 天正	伴 博夫	宮内 正次	長澤 孝	佐々木 憲治		岩田 武司	
令和 2年度	榎木 光夫	市川 伊久雄	長澤 孝				宮内 正次		佐々木 憲治	
令和 3年度	佐々木 憲治	市川 伊久雄	長澤 孝				青木 宗生		宮内 正次	
令和 4年度	佐々木 憲治	市川 伊久雄	石田 眞弓				青木 宗生		宮内 正次	
令和 5年度	佐々木 憲治	市川 伊久雄	石田 眞弓				青木 宗生		宮内 正次	

# 伊丹市自治会連合会 組織図など

# 伊丹市自治会連合会 創立60周年記念事業 実行委員会

## 組織図



## 会議の種類及び構成



役職	氏名	ブロック	自治会名	部会
委員長	佐々木 憲治	伊丹	光明町	全体統括
副委員長 部会長	宮内 正次	笹原	笹北	式典 式典全般
委員	瀧内 文也	桜台	西野	
委員	上原 夏雄	天神川	荻野西	
委員	西垣 康二	荻野	東野	
委員	松山 豊	鴻池	瑞原	
副委員長 部会長	石田 眞弓	有岡	ハリス連合	総務・会計 案内・来賓・ 参加者等の総務・ 記念品・会計
会計	青木 宗生	花里	昆陽池西 アパコンフォート	
委員	白井 洋史	稲野	アルビス千僧	
委員	中村 和年	緑丘	下河原	
委員	筒井 爲弘	瑞穂	東緑ヶ丘	
委員	長澤 孝	池尻	西野西	記念誌 記念誌全般
副委員長 部会長	市川 伊久雄	鈴原	西御願塚	
委員	矢野 誠治	摂陽	泉町	
委員	吉田 寿彦	南	若菱	
委員	橋本 健治	神津	西桑津	
委員	矢野 天正	昆陽里	日生住宅	

# 創立60周年記念感謝状受賞者

## 自治会長 10年以上～15年未満【12名】

中川 敬三 (昆陽口) 樋口 正美 (新光明) 泊 照彦 (北河原) 古賀 罔男 (伊丹レクスマンション) 矢野 誠治 (泉町)  
 濱野 克英 (柏木町) 池本 光正 (第一美鈴) 阪元 哲也 (東桑津) 竹本 幸夫 (市営桑津住宅) 中島 正憲 (アルビス寺本)  
 青木 宗生 (昆陽池西アパコンフォート) 松山 豊 (瑞原)

## 自治会長 15年以上～20年未満【8名】

佐々木 憲治 (光明町) 藤井 一成 (ミスター1伊丹) 荻野 秀雄 (高畑) 柄谷 勝 (植松) 上原 秀樹 (松ヶ丘)  
 市川 伊久雄 (西御願塚) 宮内 正次 (笹北) 塩井 真理子 (矢倉町)

## 自治会長 20年以上【6名】

細見 賢治 (アオいたみ) 長澤 孝 (西野西) 新内 竜一郎 (池尻北部) 藤原 玄一 (エンゼルハム・リバーサイド 武庫川)  
 矢野 天正 (日生住宅) 加登 武博 (野間北)

敬称略・順不同 ( ) 内は自治会名

# 編集後記 実行委員会 副委員長 市川 伊久雄 記念誌部会 部会長

この度、伊丹市自治会連合会が創立60周年を迎えるに当たり、式典部会、総務・会計部会と共に記念誌部会を立ち上げました。4名の委員と60周年記念誌「あゆみ」をどのような構成で、またどのような内容にしていけるか、まずはこの10年間の自治会連合会と伊丹市を取り巻く主な出来事について検証しました。

自治連に於いては、地域自治組織の立ち上げとそれに伴う委員会の再編が行われました。また時代の流れに合わせてデジタル化への対応が大きく進みました。一方、伊丹市を取り巻く出来事として市役所新庁舎の利用が始まった事や、安全・安心見守りネットワークの運用が開始された事があげられました。

そして忘れてはならないのが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大でした。コロナ禍に於いて地域活動の基本である人と人との繋がりが断たれ、地域活動に大きな影響を与えました。改めて自治会と自治連の在り方が問われた出来事であり、この経験をこれからの更なる伊丹の発展に活かしていかなばとの思いを込めて、編集作業に取り組んできました。

最後になりましたが、この創立60周年記念誌の発行にあたりご協力・ご尽力頂きました皆さまに感謝申し上げます。



伊丹市自治会連合会 創立 60 周年記念誌

# あゆみ

題字 伊丹市長 藤原 保幸

発行日 令和 6 年 2 月  
発行 伊丹市自治会連合会